

～ 地域別ワークショップ情報誌 ～

まちづくり 瓦版

久米・櫛ヶ浜
小学校区
第 2 回

発行：周南市役所都市開発部 都市計画課 tel 2 2 - 8 4 2 6、都市整備課 tel 2 2 - 8 4 0 2

“4つの視点”からまちづくりを考えるワークショップが開かれる

- 9月20日(木)、午後6:30から、櫛浜コミュニティセンターにおいて、周南市都市計画課、都市整備課主催の第2回地域別市民ワークショップ（参加者が対等の立場で、意見交換や作業を行う方式の懇談会）が開かれました。
- ワークショップの目的は、周南市の都市計画の基本的な内容、及び緑地の保全や公園等の計画づくりのための「緑の基本計画」の策定にあたり、きめ細かく市民の皆様の声を計画に反映させることです。
- 地区内から8人が出席し、市の司会進行のもと、2班にわかれて、「環境保全（生態保全）、レクリエーション、防災、景観形成」の4つ視点から、地域の具体的なまちづくりのための方策などを提案していただきました。
- 約2時間に渡り、紙に各自が意見を書いて図面に貼り、それを項目ごとに整理していくという作業を共同で行い、各班の代表者に発表していただきました。
- 安全で美しく、遊び・学べ、そして生き物と共存していくまちづくりのためにはどうしたらよいか、様々な課題について、活発な意見が交わされました。

作業プログラム

時間	内容	時間
18:30	開会、挨拶、ワークショップの説明	約 20 分
18:50	「自己紹介」 始める前に簡単に自己紹介をしてください 発表する人を決めます	約 40 分
19:00	ステップ1「よいところ、わるいところを探す」 よいところ、わるいところマップをつくる	
19:30	ステップ2「こんなふうになりたいことを考える」 こんなふうになりたいねマップをつくり整備メニュー整理表にする	約 40 分
20:00	「将来まちづくりテーマを決める」 将来まちづくりテーマを考える	
20:10	ステップ3「発表」 成果を発表します	約 20 分
20:30	まとめ	約 10 分
20:40	おつかれさまでした。解散。	

これからの久米・櫛ヶ浜地区は
海辺・河川の水辺を活かし、生き生きと安全なまち

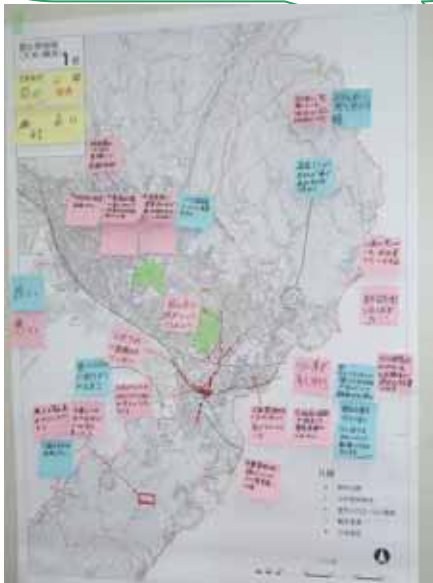
（各班に共通する意見です）



1 班の主な意見

よいところ

- ・蛍が時々でてくる、初夏
- ・大華山
- ・堀川の河口で潮干狩りができる
- ・高速ICがあるので遠出に便利



わるいところ

- ・廃屋が多い(白アリもでる)
- ・通学路が農業用のあぜみち
- ・山道が荒れている(全体の山、とおの山、大華山、いもぢ谷)。田畑が荒廃している
- ・大華山への途中、道路から眺望が悪くなった
- ・川に砂がたまり流れが悪くなっている
- ・河川改修が遅れており区画整理の進展により、災害となる
- ・既存の道路が狭くて緊急車両が入れない
- ・桜馬場のマンション・東横インの景観
- ・公共下水が整備されていない
- ・防災用の放送設備がない
- ・区画整理区域内と区域外との都市基盤整備の差が大きい



まちづくりのキーワード・テーマ

シンボルとなる美しくほこれる川づくり

高齢者も安全な町づくり

施策メニュー

- ・砂浜を保全する(潮干狩り)
- ・廃屋対策をする(景観上も)
- ・防災無線の整備
- ・高齢化社会に向けた消防システムの構築
- ・大華山山頂及び中腹からの眺望確保
- ・市街地内の建物の規制を(景観条例)
- ・ドライバーの視点にたった広告の規制
- ・高齢化社会に向けたバスルートの検討
- ・緊急車両が入れる、みちづくり
- ・親水公園を作る。河川の愛護を進める
- ・隅田川をシンボリックに整備する
- ・マナーの向上。河川愛護条例の検討
- ・多様な生き物を活かす。保全し、育てる
- ・市街化に伴う浸水区域の拡大への対策
- ・農業用水路の整理と管理
- ・下水道の整備



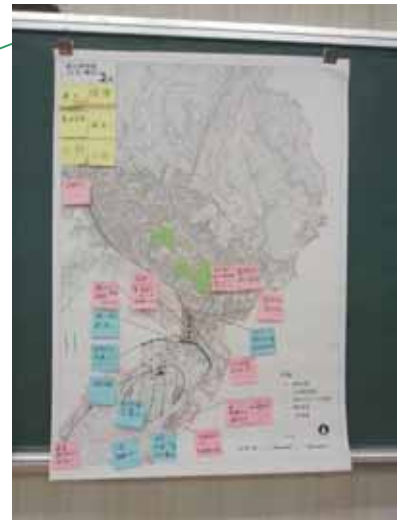
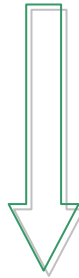
2 班の主な意見

よいところ

- ・人口が増加
- ・はまぐり、なまこ
- ・唯一残る砂浜
- ・海軍道路
- ・国立公園太華山
- ・大島、景観がない
- ・KRY野村さんの墓(記念碑がある)

わるいところ

- ・河川の氾濫。・高潮
- ・堀川の環境、破壊されている
- ・山崩れ。山地の開発が進んでいる
- ・休耕田が多い(調整区域)
- ・本町通り(昔は主要道路)店もなくなりさびれている
- ・県道(ライフライン)がない
- ・道路がせまいため消防車が入らない
- ・ミニ開発(スプロール)



まちづくりのキーワード・テーマ

～ 緑を活かした生き生き櫛ヶ浜～

施策メニュー

- ・荒れた土地を高齢者が管理する仕組み
- ・砂浜の所有権についてはっきりさせる
- ・砂浜を守る。ハマグリがとれる砂浜をもっと大切にする
- ・国立公園の環境を守る。太華山の整備
- ・休耕田の活用
- ・大島、海に砂を入れて海水浴に
- ・太華山をレクリエーションに活用。マラソン大会をする
- ・井戸を守っていく、防災時の水確保
- ・櫛ヶ浜、大島のライフラインの整備、市道を整備する
- ・電柱の地中化(本町通り)
- ・太華山山頂の見晴らしを改善。桜を植える
- ・市有林を活用 櫛ヶ浜の木をつくる
- ・歴史に残る人物、物を伝えていく



“ 瓦版 ”いかがでしたでしょうか。第2回ワークショップとともに、もう一度ふり返っていただければ幸いです。
“ 瓦版 ”について、お気づきの点などがございましたら、また都市計画や緑に関することなどまちづくり全般に関わるご質問や提案がございましたら、都市計画課、都市整備課にお問い合わせ下さい。
まちづくりは行政と市民の皆様が車の両輪となって進めていかねばなりません。今後とも皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

